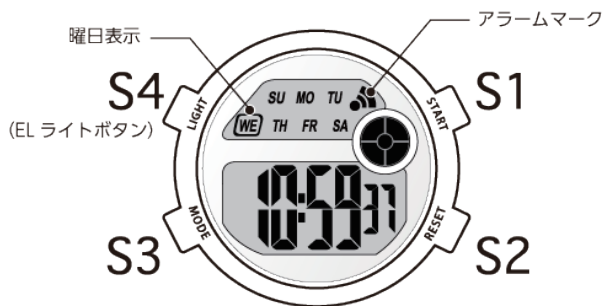


ボタン位置



【機能】

- 時刻、日付、曜日の表示 ■アラーム機能（再アラーム機能付き）
- ストップウォッチ機能 ■時報機能 ■ELライト
- 3気圧防水（水滴がついた状態でボタン操作はしないでください。）

【デジタル時計の見方】

- ・標準時刻表示では時 / 分 / 秒 / 曜日が表示されています。
- ・S1を押すと日付が表示されます。
- ・S2を押すとアラーム設定時刻が表示されます。
- ・S3を押すと表示モードが切り替えてできます。

【デジタル時計のELライト】

- ・S4を押すとELライトが光ります。

ELライトは電気を多量に消耗します。必要最小限のご使用をお薦めします。

【デジタル時計の合わせ方】時刻 / 日付・曜日の設定

※時刻・日付・曜日の設定は下記の手順で行ってください。途中からの設定変更は出来ません。

- ①標準時刻表示の時にS3を3回押すと秒が点滅し、S1を押すと00秒に戻ります。
- ②S2を押すと分が点滅し、S1で分を合わせます。
- ③S2を押すと時が点滅し、S1で時を合わせます。
S1を押して時間を進めると12時間表示（午前：時刻表示の右にAを表示 / 午後：時刻表示の左にPM・右にPを表示）と、24時間表示（時刻表示の右にHを表示）を繰り返します。
- ④S2を押すと日が点滅し、S1で日を合わせます。
- ⑤S2を押すと月が点滅し、S1で月を合わせます。
- ⑥S2を押すと曜日が点滅し、S1で曜日を合わせます。

※②～⑥の設定変更時にS1を長押しすると早送りできます。

最後にS3を押すと設定を確定して標準時刻表示にもどります。

※月の切り替わりの日付は毎月自動で切り替わります。
※2月の日付は28日までしか表示しません。うるう年のみ、手動で他の月表示に変更し29日を表示してから、月を2月に変更してください。

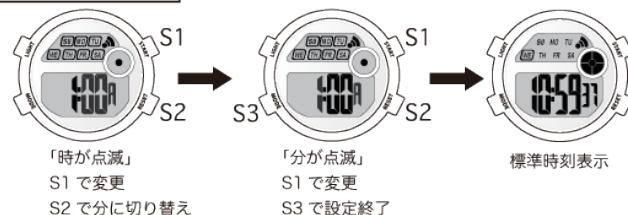
【デジタル時計のアラーム設定方法】

アラーム音は約60秒鳴ります。

- ①アラーム時刻の設定
標準時刻表示の時にS3を2回押すとアラーム時刻の時が点滅します。
S1で時を合わせます。
時刻設定変更をされた時点で、マークが表示され自動的にアラーム設定がONになります。
S2を押すとアラーム時刻の分が点滅します。S1で分を合わせます。
S3を押すと設定を確定して標準時刻表示にもどります。

※時刻設定変更時にS1を長押しすると早送りできます。

アラーム時刻設定画面

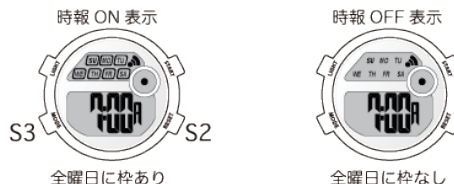


- ②アラーム音の止め方
アラーム音は、S1かS2のいずれかのボタンを押すと止まります。
S3/S4を押しても止まりません。
またS1を押して止めた場合のみ、スヌーズ機能（再アラーム機能）を作動します。
- ③スヌーズ機能（再アラーム機能）/アラーム音の一時停止
アラーム音をS1を押して止めるとスヌーズ機能が作動します。
S1で止めてから約5分後に再びアラームが鳴ります。
S1を押して止める度に約5分後にアラームが鳴ります。
スヌーズ機能を停止するには、アラーム音をS2で止めるか、アラーム音が鳴り止むまでボタン操作をしない場合、自動的にスヌーズ機能は解除されます。
- ④アラームのON/OFF（入/切）
標準時刻表示の時にS2を押しながらS1を押すとアラームのON/OFF（入/切）ができます。
アラームがON設定されている時は、マークが表示されます。
アラームがONの場合、毎日設定時刻にアラーム音が鳴ります。
アラーム機能をOFFにする時は、マークを消してください。

【時報機能 ON/OFF の設定方法】

※時報の時刻設定は出来ません。

時報設定がONの時、毎正時にチャイムが鳴ります。
時報設定のON/OFF確認は、標準時刻表示の時にS2ボタンを押して確認します。
設定がONの場合→曜日マーク全てに枠が表示されています。
設定がOFFの場合→曜日マーク全てに枠が表示されていません。
ON/OFF設定の切り替えは、S2ボタンを押した状態でS3ボタンを押してください。
S3ボタンを押すごとに、枠が**表示あり**と**表示なし**に切り替わります。



【デジタル時計のストップウォッチ機能について】

標準時刻表示の時にS3を1回押すとストップウォッチ機能になります。
ストップウォッチ機能では、2種類の計測が出来ます。

- ①計測操作 - その1
ストップウォッチ機能を表示した状態からS1を押して、スタート / 計測開始、もう一度押すとストップ / 計測停止 ができます。
計測を止めた状態でS2を押すとリセットされます。
最後にS3を押すと標準時刻表示にもどります。
- ②計測操作 - その2
ストップウォッチ機能を表示した状態でS1を押して計測をスタートします。
計測中にS2を押して途中経過時間を表示します。
その間もストップウォッチは計測されています。
そのままS2を押すと再び計測中の画面に戻ります。
S1を押して停止した後、記録を読みとります。
計測を停止した状態でS2を押すと計測前の状態にリセットされます。
S3を押すと標準時刻表示にもどります。



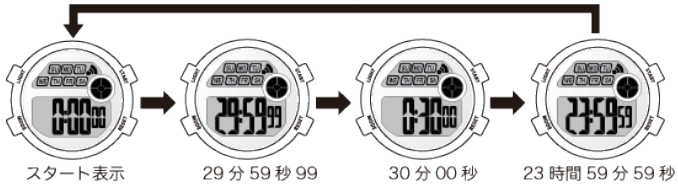
計測時間の表示について

※計測表示は、29分59秒99までは1/100秒まで計測可能です。

30分以降は1/100秒単位の計測は出来ません。

※最大計測時間は、23時間59分59秒です。これを過ぎると00:00:00に戻り計測を継続します。

ストップウォッチ表示の流れ



製品仕様

- 平均月差±90秒以内 (適正使用温度範囲5℃~35℃の場合)
- 使用温度範囲:5℃~35℃
- 電池寿命:新品電池を入れてから約1.5年
(1日にELライト1回/アラーム1回使用目安)

※本製品は工場にて新品電池を組み込んでおりますが、お買上げいただくまでの期間も作動し続けているため、お買上げ後、規格寿命に満たない内に電池容量が切れることがあります。

- 使用電池:リチウム電池 CR2025 x 1個
- 製造国:中国

防水機能について

- 本製品は3気圧防水です。
※注意:激しい水圧が掛かると水が入り故障の原因になる場合があります。

3気圧防水	一時的にかかる水滴 (洗面・雨など)	水仕事	水泳	ダイビング
	○	×	×	×



ボタン操作のご注意 水に濡れた状態でのボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となることがあります。手やボタン部分が濡れていないことを確認してからボタン操作を行ってください。